

7月の練習風景



来年の「うたのタベ」

会場取り&定例日

6/30(木)練習室B(28名)

練習会場の申請は3カ月前、大ホール・中ホールの申請は1年前の月初め。来年7月演奏会の会場取りは明日の7/1。早めには確保に希望日程は取れない。昨年こぶしの中村さんは夜中の12時前より並んで、その後リレー交替で取った。6/30(木)は定例日。私が18時20分頃まなみるに着くと、エントランスホールの長椅子に男の人数人が座っていた。「アレッ」中村さんも居るの？「何してるの？」

「明日の会場取り、もうすでに始まっているので」「えー明日なのに今から？」「9中ホール大丈夫？」「ウン、大丈夫だった。学校関係で大ホールだから」「今からずいっと座って順番キープするの？」「ウン、練習も大事だから、30分刻みで男で座る事にしたから」と

だから合唱練習は常に男声の誰かが欠けていた。でもこうして来年のうたのタベの演奏会ホールを確保出来た事を知って安心して合唱練習できた。

21時に全体練習が終わり、21時から男声合唱。その間女声菅原・岩村が番をして、その後は中村・菅原・木村・伊澤・寺中・伊澤と2時間リレーは続いた。全道規模の場合は早くから市に申請して取れるが市内の演奏会等は早い者勝ちだから、どの団体も知恵をこらして、食べ物持参文藝等と並ぶ。

過去に希望の日、中ホールが取れない時があり、その時は大ホールでしたり、天理教会の神座をお借りした事もあった。

それはそれで懐かしい定期演奏会だった。

子供たちは、中ホールは初めて、なのに堂々と並び勇士のいで立ちで入って来た。動きも並びも歌も私達よりしつかりしている。園内での先生達の厳しく、優しい指導の賜物だとつくづく思った。

子供たちが帰った後は私達のリハーサル。女声は本番の衣装を着、動きと捌け方、移動並びそして合唱の響き、舞台監督の桑田さんが「もつと声を速く」に飛ばして、飛ばして「と大きな身振りで合図する。その後は混声のリハーサルをして、最後に男声合唱に磨きをかけた。

「こぶしの男声合唱はうたのタベの期待度No.1。不安な箇所はまだあった。後4日間ある。」

歌詞が曖昧だと響きも曖昧。ガンバロウ！

定例日

7/7(木)練習室B(26名)

舞台設置と

プログラム折り込

7/8(金)中ホール(10名)

「習うより慣れる」とは良く言ったものです。何度も歌った歌は体に染み付き、歌い足りない歌は自信が揺らぎ、不安と一緒に響きが消える。「HEIWAの鐘」の歌詞は最後まで苦勞しました。

折り込みは18時からと決まっていますが、年を取ると早い。17時過ぎから来て、準備をする。が待ち切れずやり始めてしまふ。時間通りに来た人は偉る。

今回もオニのように早い。黙々と早い5人の女。後半、舞台設置チームも参加して10人の無言集団。公演は明日。作業は工員の様に手早い。

早く終わらせて明日の為に休養と準備と良い精神状态を！そんなこんなでみんな手際がよい。そしてプログラム折り込みセットは、早々と終了。そして「こんな時、ちょっととした笑い話が出たり、交流があったりと楽しみもあるはずなのに。」

演奏会前日はみんなオニになっていた。

本番！

第37回定期演奏会 うたのタベ

7/9(土)文化センター(29名)

演奏会は音楽演奏だけで出来ているのではない。各係があり、責任部所を気にしながら合唱に集中しなければならぬ。

「こぶし」の場合、団員家族ボランティア3名と医師会看護高等専修学校のボランティア12名に支えられて、受付係、会場係、舞台係と安心して任せられる人達が例年配置されている。

毎年全体を見て指示してくれていた山崎さんのご主人がいないので不安もあったが、岩村さんのご主人と伊澤の夫、そして無理かも知れないと言っていた大徳さんの娘さん。3人の活躍は言うまでも無い。何事も無く無事終了したのはボランティアさんあっての演奏会。舞台監督さん、カメラマンさん然り。

会場では赤ちゃんの泣き声等もあり、観客に迷惑も掛けたが私達は全力を出し切って歌ったことは紛れもない。

終了後の打ち上げは、36名参加で、中村さん司会。興奮が覚めやらぬ皆の一言は新鮮で、頑張ってたってきた清々しい心意気が明日への活力につながって行った。「こぶしの森別箇所記載参照」

「こぶしは何処へ行こうとしている？」と言われた。「こぶしの行き先は団員の心の中にあると思う。」「歌っていいなあ。」「歌えなくなると寂しさを感じた。」「こぶしに行けばあの人がいる。」「知らなかった歌、難しい曲こんなに覚えた」等々。こぶしは団員のオアシスでなければならぬ。

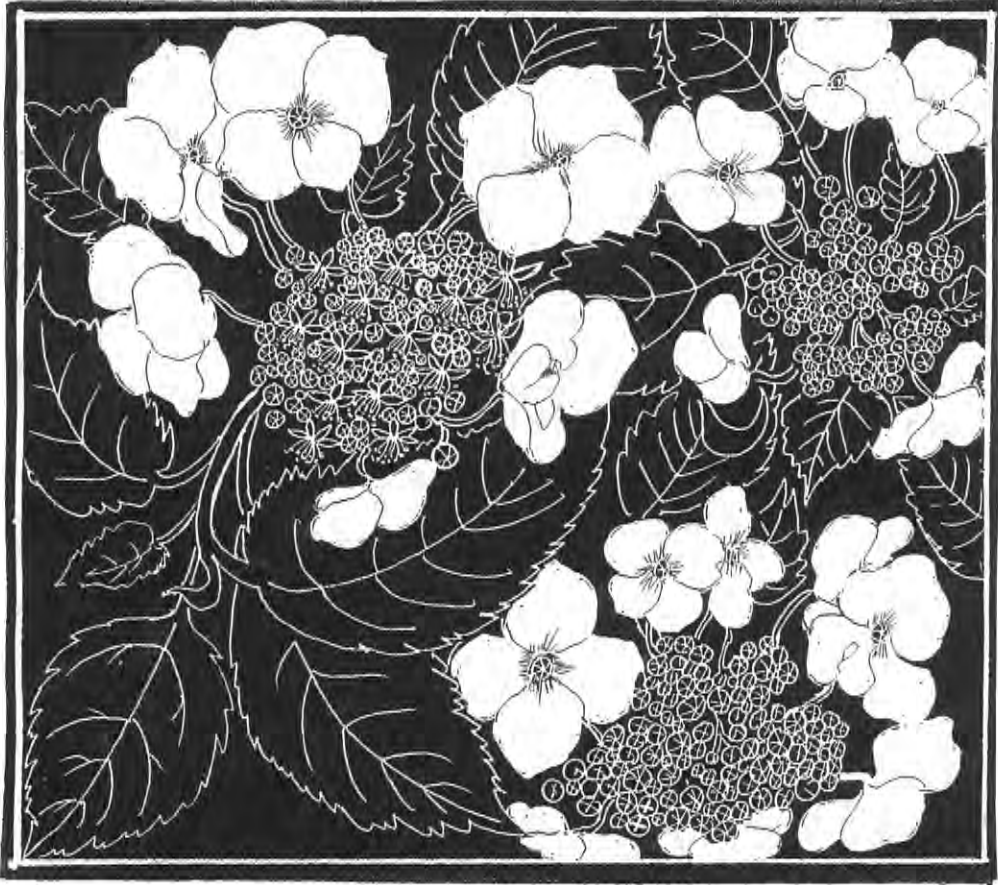
演奏会をするという事は、厳しい練習をどうしても通過しなければならぬ。どうやって通過するかの挑戦が必ず課せられる。忙しくてなかなか来れない人を支える集団の力。暫くぶりに定例参加した人が歌う喜びを味わう定例のひとつ工夫。

自分にとってのこぶし、公演に来てくれる人にとつてのこぶし、全道・全国うたのえ仲間としてのこぶし。こぶしの糸は団員ひとり一人の自覚で細くも太くもなる。私たちは孤立無縁の中で存在しているのではなく、みんな繋がっている。

歌と人と人生が優しい糸で繋がっています様に。

森のこぶし

第37回定期演奏会「うたのタベ」が終え、ご苦労さん会(一人一言特集)/合唱団たんぼぼ 中嶋敬一さんからのお手紙拝見させて頂きました/8月の案内板/季々のことのは/ひろば



合唱団 こぶし 編集者 イザワ

TEL 0126-32-0525
FAX 0126-32-0526

2016.8.4 発行
2016年
7月 349号

第37回定期演奏会『うたの夕べ』を終えて

北海道のうた祭 祭典 とかち 9月7日(土)～18日(日)

第37回定期演奏会「うたの夕べ」7/9が終わり、アンケート回収(206枚)の集約が終わり、緊張がほどけてか眠い日が続きました。みなさんもホッと一息ついて日常生活のリズムを取り戻しつつある事と思います。夕食が終わったらコックリ、朝食後も昼食後もコックリしている私の姿は、まるで食後のおばあちゃん達さながらの情景に似ていると家人は笑います。早寝すると朝早く目が覚めてしまい、やはり紛れも無く老境に入ったことなのでしょう。7月は旧暦では秋の季ですが、北海道はこれから暑い夏に向かっていく季節です。日は長い、庭花は美しい、気候は良い、そんな7月の下旬に、こぶしは毎年定期演奏会を迎え、終え、夏のバカンスに向かっていくという構図ですが、実は来年の演奏会へのゆるやかなスタートがもう始まっています。演奏会諸々の反省も、打ち上げ時のみんなの気持ち等々は下記にあり、これからも、より良い演奏会の為の意見や思索は続きます。7月は6月の憂鬱よりさらに深刻な、恐ろしい事件が各国で頻発して身がすくみます。バングラデシュ飲食店での残忍なテロ。トルコでクーデター161名の死亡。フランスで花火見物客に大型トラックが突っ込んだテロ、死者84名、100名超の負傷者。まだまだあります。そして我が国でも相模原の障害施設19名の刺殺、26名怪我をさせた事件。壊れた人間性の若者が無抵抗な一般市民を殺害する。一人ひとりの平穏な日常、平和な日々が突然奪われる理不尽さを人事とは思えない昨今。壊れていく人々を社会が生み出したのでしょうか？ 色々な思想の人達と触れ、試行錯誤しながら時間をかけより良い思想を生み出すこととは、真逆な、短絡的で、人が一番大事にしている命を、その自分の命で破壊する。そのエネルギーの根っこに何かあるのでしょうか？ 社会と折り合わない事に対する恨みなののでしょうか？ そんな狂気に脅え、立ち止まってしまうのですが、私たちは、人間性が豊かに育つ土壌を耕やし続けなければならないと思うので、小指のひとはじきでも社会は変わると信じています。

一遍の詩が、その一言が、季節の花々が、ひとフレーズが、柔らかな合唱の響きが、人間らしくあることを訴えるうたごえが、そして笑顔が私達にいつも喜びをもたらしてくれます。それが生きる喜びに繋がります。その様に私達もその何かを届けられたら良いと思います！ 歌うことは楽しいこと。楽しい事は素敵なこと。楽しかったと言われることは命を喜ばしたということ。アンケートに楽しかったの言葉が多く頂きました。こぶしとしては最高の褒め言葉を頂いたと思います。

さて 来年は どんな 楽しい演奏会をしようかと、みんなでワクワクして企画作りをしたいものです。8月は4日からリオデジャネイロオリンピックが始まりそして6日広島・9日長崎に原爆が落とされ、終戦71周年の8月でもあります。

一年の集大成 第37回 定期演奏会「うたの夕べ」を終え

直後の 打ち上げ “ご苦労さん会”

岩見沢市文化センター(中ホール)で公演
終了後は同館内の3Fで36名参加のご苦労さん会



★高島さん(北海道合唱団・指揮者)

- ・温かい演奏会ありがとう
- ・男声がステキ
- ・幼稚園のうた声とても良かった。
- ・こぶしの合唱 ちょっと幕がかかっている突き抜けていない感じがする
- ・パワーを感じた。お疲れさま

★横山先生(Nコン審査員)

- ・井沢さんの後を付いて来ただけ詳しいことは井沢さんに(褒め殺し)
- ・街中にポスターが貼ってある。満員。
- ・全暗譜は素晴らしい、努力を賞う！
- ・みなさんの演奏会にける熱を感じる。

★井沢さん(昨年の客演指揮者)

- ・あれから1年が経ちました。
- ・9月にコンサートで指揮しますがうたごえ祭典とバッチリぶつかる。
- ・今回アカペラ無かったの？
- ・幼稚園との共演は基礎点80点ある(笑)
- ・何を届けたいのか、詞、曲の表現を深めて欲しい。
- ・響きが飛んで来て欲しい。
- ・《第3部のステージが良かった》
- ・自信を持っている歌、おっかなびっくりうたっている歌との響きの違い。

★大徳さん(団長)

- ・皆さんご苦労様でした。
- ・街中の目立つところのポスター貼りは私です。なかなか貼らせてもらえなくなりました。
- ・(家族同様)の愛犬の様態が悪くハラハラ、ドキドキの演奏会でした。
- ・今日は北海道合唱団からも聞きに来て下さり打ち上げにも参加して下さい有り難う御座います。井沢さん、横山先生、桑田さん、土屋さんカメラの成田さん有り難う御座いました。

★岩田先生(指揮者)

- ・何度も言った「これまでか!?!」
- ・5月の段階で暗譜は無理と思った。期日を決め暗譜を促した。
- ・歌詞が出てこないから響かない。楽譜を見ると声が飛ぶ。
- ・音程が低い
- ・声が届かない 課題は沢山あるけどこれからも又頑張りましょう!

★細野さん(ソプラノ)

- ・全道いや全国の作詞家 74歳になりました。
- ・栗林さん私の目の黒いうちにどうぞこぶしに入ってください(笑)
- ・詩と作詞とは違う、難しい...
- ・どうぞ私をかわいがって下さい。
- ・9月(全国創作の集いで)沖縄に行つて来ます。

★沢田さん(ソプラノ)

- ・札幌に引っ越して1年。週2回は辛い、行きたくないと思ったことはない。
- ・「まだ覚えてないの?もう僕覚えてよ」と主人に言われた。
- ・歌えない(冬)歌えない事がこんなに寂しいものなのかと思った。

★寺中さん(マネージャー)

- ・準備は一年前から始まり、あつと言う間に終わってしまった。
- ・来年の会場(中ホール)は取ってある。又来年に向かって頑張りましょう。
- ・そして今は道うた祭典に向けて頑張ってください。

★河岸さん(司会)

- ・みなさんご苦労様でした。
- ・もう最後と思いきや天狗まんじゅうを買って来ました(控室に)
- ・「いのちの歌」は井沢さん夫妻に歌ってもらって、合唱団にテープを持って行った大好きな曲です。
- ・司会が好きで、歌って良いなあ~と思ってます。
- ・18年前、桑尾さんと一緒に入りました。影ながら応援していますのでこれからも頑張ってください。

★藤田さん(アルト)

- ・ご苦労様です。夫婦でこぶしに入っています。小川さんとは同期です。
- ・練習日少ない日が多いと、ドアの外で入るの戸惑い来ない...
- ・パート練習のCDをかけ常に歌ってました。
- ・「HEIWAの鐘」楽しく歌い終えホッとしました。

★梅田さん(ソプラノパートリーダー)

- ・6/17札幌で目眩で倒れ 救急車に乗って病院へ
- ・自分でも体力に自信が無くなった。
- ・立って歌うのは元気で無ければ歌えないと初めてわかった。
- ・今年は昨年とは違った思いで参加した。昨年はごく一部の関わりだったが今年は充分に関わって、こぶしを好きになったし幸せでした。

★諸橋さん(ソプラノ)

- ・ナースをやっています。
- ・歌と仕事
- ・正しい音を指摘され正しい自分になる。
- ・なるべく歌っていきたい。

★上田さん(アルト)

- ・皆さんご苦労様
- ・入団して2年目、3回目の「うたの夕べ」
- ・ここに入っていると、一番若い!最高齢の団員の人を見ると後30年もある(笑い)
- ・これからもっと若い人が入ってこないと
- ・高校生の息子がいるので、これから家と都合をつけながらやっていかなきゃ。

★岩村さん(アルトパートリーダー)

- ・やっと一日が終わった。
- ・1月からパートレッスン・個人レッスンをやりアルトはまとまっている。
- ・上田さんの力が大きく引っ張ってもらっている。
- ・高齢化に伴い声が低くなり皆で頑張って低くならないよう気をつけている。
- ・今日は声が出ていた様に思います。
- ・老人パワーで皆で続けていきたい。

★栗林さん(演奏団員)

- ・今回で3回目(演奏団員として)
- ・たった2曲、しかも1カ月前より気楽な立場、これでいいの？
- ・岩田先生から「団員にならないか」と声を掛けられた。
- ・11月頃から顔出そうかなあ~

★桑田さん(舞台監督)

- ・リハの時より疲れて、手を抜いていたけど本番になって集中すると声が出る。
- ・日々の練習で頂点を目指す。もっともっと伸びていけるのでは。
- ・発声はPが一番つらい
- ・もっともっと声を遠くに届けとどけて下さい。

★成田さん(カメラマン)

- ・音楽はど素人です。
- ・リハーサルから見ると本番は感動して力が入りました。
- ・「森のフクロウを守る会」植樹募金有り難う御座いました

★土屋さん(2000~2004こぶしの指揮者)

- ・こぶしにいた40代。16年前駒沢高校野球部助っ人ヒグマーズと音楽室での演奏会だった。
- ・いまだに同じことしているんだなあ~と思った。
- ・街のあちこちにポスターがあり...
- ・良い成績より、特徴のある歌を!
- ・音楽は もっと音を楽しんで欲しい。

★伊藤さん(親の介護のため釧路へ)

- ・去年12月に釧路に行って半年
- ・初めてお客さんとして見たこぶし、温かさの伝わる演奏会でした。
- ・一番前だったので良く伝わりました。
- ・今はアンラコロとメサイヤ合唱団に所属
- ・道うた祭では皆さんのライバルとして出場します。

★居林さん(ソプラノ)

- ・毎回遅刻してすみません。
- ・職場(恵庭)片道1時間、毎日毎日CDかけて聞いていた。舞台上がると違う。足を引っ張らない様だと思っていたが、でしゃばった。

★増子さん(北海道合唱団)

- ・うたごえ新聞に出す記事を書いてと言われた。
- ・音楽は苦手だったが、大学の時「荒木栄の音楽」に出会って入団。
- ・音楽の多様化の時代
- ・「うたごえ」はどう残っているのか
- ・こぶしは岩田先生から土台が出来これからどうするのか? どうなっていくのか?と思う。
- ・声が指揮者の所で止まっている。一人一人もって声を出すのが課題
- ・自分たちだけでなく、日本のうたごえも含め これからどこへ行くのかを考えて欲しい。

★砂石さん(ソプラノ)

- ・抗ガン剤の作用が有るので...歩くのがおっくう。沢田さんが助けてくれた。
- ・一カ月休んだので遅れてしまった。
- ・今までに無いくらい練習をして夫に「聞き飽きた」と言われた。
- ・第3部は良く歌えたと思う。
- ・今年はこれからどうするか考えている。

★桑尾さん(アルト)

- ・歌い込んでいない歌はぎりぎり自信なかったが一生懸命歌った。
- ・今は心地よい疲れで眠くなった(笑い)
- ・幼稚園の子供たちは素晴らしい!負けてられないという気持ちになった。
- ・多忙になっても、なるべく長く歌いたい。
- ・歌に支えられ、もう少し頑張りたい

★大野さん(アルト)

- ・最高齢の大野です!(85歳)
- ・自分の練習が足りなかった。
- ・終わってホッとしました。

★小川さん(ソプラノ)

- ・大野さんの次にお姉さんです。
- ・なかなか暗譜が出来ない、覚えられない。だけど歌うことが楽しい。
- ・人生の晩年歌うことが出来て感謝してます

★片山さん(バス)

- ・すみません歌詞を間違えました。
- ・今日の失敗を糧に来年は頑張ります。



36名中26名分の一人一言は不十分な文面で御免なさい。記載出来なかった方怪しいメモだったのでゴメンナサイ。

8月の案内板

暑中お見舞い申し上げます



2016年《8月》

- 1日(月)(11月)の練習会場申請11/3・10・17・24(4回)
- 4日(木)定例日(創作室)18:30
- 6日(土)広島原爆の日
- 7日(日)北海道合唱団の『うたごえ喫茶』
(会場)北海道高等学校教職員センター(800円)
- 9日(火)長崎原爆の日
- 11日(木)定例日(創作室)18:30
- 18日(木)定例日(創作室)18:30
- 25日(木)定例日(創作室)18:30

《9月》

- 1日(木)(12月)練習会場申請日 12/1・8・15・22(4回)創作室
定例日(創作室)18:30
- 4日(日)ザ・クラシックコンサート岩見沢2016
まなみーる岩見沢市民会館大ホール開場12:00 開演12:30(前売800円)
- 8日(木)定例日(創作室)18:30
- 15日(木)定例日(創作室)18:30
- 17日(土)2016 北海道のうたごえ祭典 in とかち(合唱発表会)
- 18日(日) (大音楽会)
- 22日(木)定例日(創作室)18:30
- 29日(木)定例日(創作室)18:30

八月は青い空と入道雲
蝉、陽炎、水遊び
朝顔、カンゾウ、金魚草
八月は小さい時のまま
とまご、西瓜、かき氷
蛙、浴衣、線香花火
八月は 特別な陽差しの夏休み
無邪気に歩いた白い道
八月は 忘れられたくても忘れられぬ
青い空にきのこ雲



雲錦(うまきん) 朝の霞をいう、錦のような鮮やかさ。
雲の梯(うまかた) たなびく雲を架け橋に見立てていう。
雲の峰(うまね) 高くそびえ立つ入道雲。雲峰(うまね)ともいう。
雲海(うまうみ) 大海原のように見える雲。
夕焼雲(ゆふやま) 空とともに赤く染まった雲のこと。
雲の返し(うまかえ) 雨雲を吹き払う爽やかな風。
雲の八重葎(うまやま) 連なる雲のこと。「雲の絨毯」ともいう。
雲脚(うまかた) 雲が動いて過ぎて行くさま。「雲の脚」のこと。
雲の迷い(うままよ) 雲が乱れ立つこと。美しさも兼ね備える。
天使の梯子(てんしのはし) 雲間から差し込む光のこと。

季々のことのは《雲の使》八月



大雨時行

大雨時行
時として大雨降る

合唱団たんぼぼの 中山島敬文

さんから届いた手紙

第37回合唱団こぶし定期演奏会「うたの夕べ」を鑑賞して

という評が大徳団長に届き、是非「こぶしの森」といって私の元に封筒ごと団長からお預かりしました。開けて見てびっくり、2枚に渡ってびっくり評されている内容は、私達の演奏会をよく見、よく聴き、演奏会全体を色々な部門に分類され、真っすぐに評されていました。他の合唱演奏会と異なった主旨・形態の私たちの演奏会を楽しそうに大らかに肯定し、さらにこぶしの背中を優しく押してくれる中嶋さんの評を読んでいく内に、明日に向かって凛々と元気が出て来ました。有り難う御座いました。次月号(8月号)に全文記載させて頂きますので、ご了承下さい。

こぶしの森編集者-イザワ-

平和を歌うビヤパーティー

北海道合唱団の うたごえ喫茶

800円 (税別)

日時 8月7日(日)午後2時から4時
会場 北海道高等学校教職員センター
地下鉄東区西園西1丁目南出入口下道南徒歩3分
札幌市中央区大通西5丁目4

3日間合計は
全席埋 札幌市中央区南1条4丁目6-9-1
TEL: 011-811-9889
携帯 090-1776-1366 (中国)

北海道合唱団は2ヶ月に1回、うたごえ喫茶を開催しています。2016年度は9月3日(土)の予定です。
10月3日(日) 東京
12月3日(金) 東京

「映画を観る会」特別企画

“沖縄”

1975年〜2015年に制作ないし放映された日本の映像を、連続上映します。見た映像だけを見てくださってかまいませんが、全てを鑑賞されると、沖縄が伝わってきた、そして、今も残されている問題を加えていただけるものと思います。

教えられなかった戦争・沖縄編
～阿波根盛綱・伊江島のたかひ～
1998年制作
午前10時17分〜12時13分

2016年8月11日(木)
午前9時15分〜午後3時44分

全席 100円 (税別)

沖繩ニュースリアル第14
速報 辺野野のたかひ
2015年8月〜11月
2015年制作
午後2時51分〜3時44分

会場 日本キリスト教団岩見沢教会
(10番3丁目 電話22-1439)

ザ・クラシックコンサート岩見沢2016

9/4日

12:00 開演12:20 受付開始

会場 岩見沢市民会館大ホール

前売800円 / 当日1,000円

チケットの購入は、会場、電話、インターネットで可能です。

チケットの購入は、会場、電話、インターネットで可能です。

チケットの購入は、会場、電話、インターネットで可能です。

2016 北海道のうたごえ祭典 in とかち

2016年9月17日(土)〜9月18日(日)

9月17日(土) 合唱発表会
9月18日(日) うたごえ交流会 大音楽会

会場 岩見沢市民会館大ホール

前売800円 / 当日1,000円

チケットの購入は、会場、電話、インターネットで可能です。

原水爆禁止2016年世界大会プログラム

国際会議	世界大会-広島	世界大会-長崎
8/2(水) 14:00-19:00 ホテルセンチュリー21広島 3F・3F-D 開会総会 / 全体会議	8/4(木) 14:00-16:30 広島県立総合体育館グリーンアリーナ 開会総会	8/8(月) 13:00-18:00 長崎大学 中庭 国際交流フォーラム
8/3(水) 9:30-12:30 ホテルセンチュリー21広島 3F・3F-D 全体会議	8/5(金) 10:30-15:00 広島市内 分科会 / 動く分科会	8/9(火) 10:30-13:00 長崎市民会館体育館 世界大会
14:00-18:00 3会場(ホテルセンチュリー21F) 分科会	13:00-16:00 ホテルセンチュリー21広島 3F・3F-D フォーラム	14:00-15:00 ナガサキギター賞展・著名人物フォーラム
8/4(木) 10:00-11:30 ホテルセンチュリー21広島 3F・3F-D 閉会総会	8/6(土) 10:30-13:00 広島県立総合体育館グリーンアリーナ 閉会総会	19:30-20:30 基町河川公園 ヒロシマデーとうらう流し
19:30-20:30 基町河川公園 ヒロシマデーとうらう流し	19:30-20:30 基町河川公園 ヒロシマデーとうらう流し	19:30-20:30 基町河川公園 ヒロシマデーとうらう流し

19:30-20:30
基町河川公園
ヒロシマデーとうらう流し